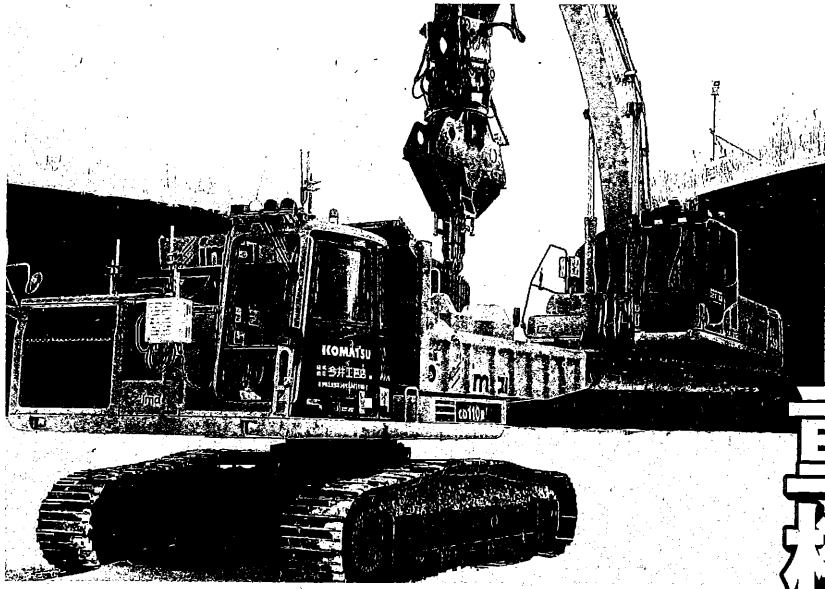


コンクリート製ブロックを
運搬する無人の重機



重機を遠隔操作

「無人化施工」現地試験

樽前山噴火に備え…積雪寒冷地での課題探る

ターが乗っていない重機をラジコンのように無線で遠隔操作する「無人化施工」と呼ばれる技術の現地試験見学会を行った。

無人化施工を行う場合の課題を探った。現場にカメラを設置し、1・4メートル離れた操作室でオペレーターが映像を見ながらコンローラ

を操作した。無人の油圧シヨベルと走行用ベルト車がブロックを運んだり、積み上げたりする作業を繰り返した。

同開建によると、これまでの試験から無線を中継するアンテナに雪が付着して映像が乱れるなどの課題が見つかったという。苫小牧河川事務所の

伊藤慎朗所長は「今後も試験を行いながら、積雪寒冷地での無人化施工のマニュアルを作りたい」と話していた。

室蘭開建設部は30日、樽前山噴火に備えて建設された砂防ダム「錦多峰川2号遊砂地」(苫小牧市錦岡)で、オペレー

ターが乗っていない重機で積み上げ、積雪寒冷地で

室蘭開建